

周布川

大長見ダムだより

平成27年度第2号
平成28年1月
浜田県土整備事務所

洪水期を振り返って

大長見ダムでは、洪水期（6/16～9/30の間）を終え、非洪水期に入りました。今年、関東地方では鬼怒川の堤防決壊により極めて甚大な浸水被害がありました。島根県においては幸いなことに台風の直撃もなく、大きな被害はありませんでした。

9月9日・10日の大雨の時の放流の様子



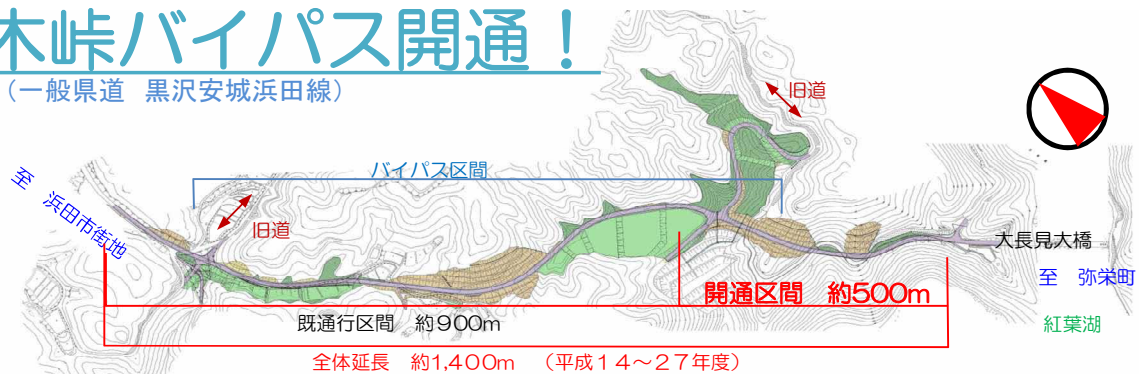
洪水警戒体制入りは2回（8月下旬、9月上旬）行いましたが、甚大な被害を受けた一昨年の12回、及び昨年の4回に対し、体制入りの頻度も少なく、周布川沿川においても大きな被害もなく、無事に洪水期を終えることができました。

一方、洪水期の前半では、好天が続き、周布川の水位が低下したため、河川の必要流量を確保するため、ダムより放流（6/16～6/29間、最大1.1m³/s放流）を行いました。

給水制限や節水を伴う重度な渇水に至らず幸いでした。

梨木峠バイパス開通！

（一般県道 黒沢安城浜田線）



大長見ダムの上流の一般県道 黒沢安城浜田線の梨木峠区間は、道幅の狭い急カーブが連続し、対向車とのすれ違いが困難であったことなどから、平成14年度～昨年8月まで13年をかけて工区全体約1.4kmの改良工事が完了しました（今回の開通区間は概ね5年）。

8月27日には午前7時から地元主催による通り初めが行われ、この日からより安心して通行していただけるようになりました。道路改良の記事内容ということでダム事業ではありませんが、大長見ダム流域の新着ニュースとして掲載しました。



裏面も見てにゃー

出前講座・・・やっていますヨ！

大長見ダムへの理解を皆さんに一層深めていただくことを目的に、出前講座を行っています。平成24年度の周布小学校への訪問以降ここ3年出向いていませんが、学校をはじめ自治会などの集いにも出向きますので、出前講座のご要望がございましたら下記へ連絡をお願いします。（写真は平成24年度の周布小学校での様子です）

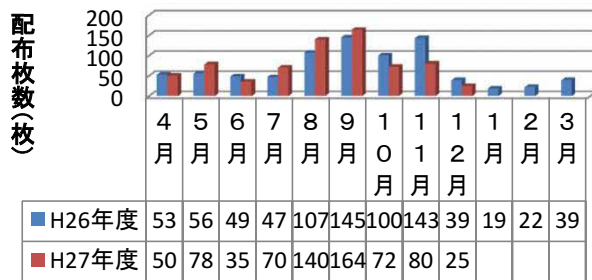
【講座メニュー】

- ①過去の洪水について（S58年災害、S63年災害など）
- ②ダムの役割と仕組みについて
- ③大長見ダムができるまで
- ④その他のご要望（内容によってはご要望に添えない場合もあります）



ダムカード 大・好・評！

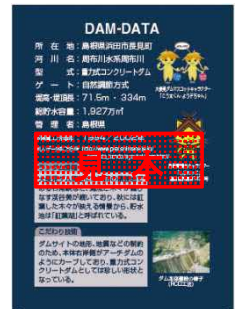
月別配布枚数



ダムカード

裏面

表面



大長見ダムでは、たくさんの方にダムのことを知ってもらうことを目的として、昨年4月よりダムを訪れた方（希望者）にダムカードを配布しています。配布を始めて以降1年9ヶ月が経過しましたが、北は北海道から南は宮崎までの全国各地から多くの方が大長見ダムを訪れてくださり、12月末現在で約1,500枚を配布しました。ダム管理職員としては、たいへんうれしい数字です。

これからもダムカードの配布を続けていきますので、ダムに興味のある方はぜひダムまでお越しください。

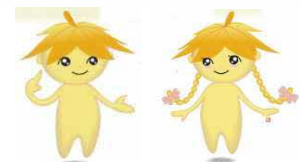
大長見ダムは貯水池の名前を「紅葉（こうよう）湖」と称し、特に風が穏やかな日には紅葉時期をはじめ、春の新緑、雪景色など、湖面に映る眺めが四季を通して楽しめます。オススメです！



大長見ダムに関するご意見、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

島根県浜田県土整備事務所
御部・大長見ダム管理課
〒697-0041
島根県浜田市片庭町254
TEL.0855-29-5674

大長見ダム管理所
〒697-0014
島根県浜田市長見町934-14
TEL.0855-22-8340



大長見ダムマスコットキャラクター
こう太君 よう子ちゃん